

2学期制を3学期制に戻す検討を

自由民主党議員団 伊藤 正信



2学期制を導入したものの、再び元の3学期制に戻す公立小中学校が増えているとの新聞報道があった。2008年度の学習指導要領改訂で授業時間が増えたこともあり、「3学期制に戻しても必要な授業時間が確保できる」という認識が広がった。保護者からは夏休み前に通知表を出してほしいといった理由などにより、3学期制を希望する声もある。2学期制を導入してから6年が経つが、3学期制に戻す検討をどうするか。

自転車交通安全対策を問う

自転車利用者への交通安全ルールとマナーの普及・啓発活動には、区が警察署や交通安全協会と連携して取り組むことが重要である。近隣区ではスクエアドストリート方式交通安全教室の予算を計上し、年に数回から数十回開催しているところもある。区として実施していく考えはないか。

区長 今後、区としても所管警察・交通安全協会と協

力し、実施を考えたい。資源の持ち去りを排除せよ。地域で努力して集めた貴重な資源を不当に持ち去る事例が多い。区では条例に持ち去りの禁止規定を設けているが、その規定を有効たらしめ、抑止効果を持たせる罰則規定はない。悪質な持ち去り行為を排除するため、条例に罰則規定を設けることが必要と考え、区の見解は。

区長 罰則規定については現在、導入に向けた検討を行っている。また、GPS端末機を活用した追跡調査の実施についても導入に向けた準備を進めており、今後も必要に応じて検討していきたい。

フィルムコミッションによる地域活性化を推進せよ

公明党議員団 小林 ぜんいち



①映画などのロケ撮影の誘致等を支援するフィルムコミッションについて、地域活性化の新たな切り口として取り組んでみてはどうか。②公園や施設の使用許可等の煩雑な手続きを簡略化するため、窓口を一本化すべきでは。

区長 ①ロケ撮影の誘致が、さまざまな地域資源の国内外への情報発信や話題作りとなり、また、ロケ地を訪問する来街者の増加にもつながるため、研究を進めている。

②多岐に渡る業務を適切に遂行できる支援機関のあり方に

ついて、今後課題を整理する。健康寿命・活動寿命の延伸を①介護予防に役立つ音楽機器を使った体操や、設置が簡易な足湯・手湯を導入しては。②「なかの食育かるた」を妊娠・育児期、幼児期の健康学習に利用すべきでは。

区長 ①音楽機器を用いた生活機能改善プログラムの導入は、効果や費用等、総合的に勘案し検討する。健康づくりの一環としての足湯等の場の整備は、他自治体での活用実態を把握し研究したい。

②保育園では食育かるたを正月に向け活用する予定である。今後は、すこやか福祉センターと連携して妊娠期や育児期の活用についても工夫したい。

防災施策について問う

①スタンドパイプの普及啓発のため、訓練の促進や各種操作大会で成果発表等を実施しては。また、配備されている防災倉庫へは表示をすべきでは。②中学校の防災隊に火炎よけ付き折り畳み式ヘルメットを支給してはどうか。③握力の弱い高齢者用に、ペットボトルオープナーを避難所や備蓄倉庫に配備すべきでは。

区長 ①防災会への配置を機に、操作訓練を促進し、成果発表は、大会主催者の町

会連合会に意見として伝える。また、防災倉庫への表示方法は今後検討する。②ヘルメットの配付は今後検討する。③ペットボトルオープナーの配備についても検討する。

都市計画道路事業と集合住宅条例との整合性を問う

自由民主党議員団 内川 和久



「中野区集合住宅の建築及び管理に関する条例」には、建築物の階数が3以上で、総戸数が12以上の集合住宅の場合、一定の戸数のファミリータイプの住戸を設置するよう定められている。都市計画道路上にファミリータイプの住戸が設置されている建築物の場合、都市計画道路の事業施行時にその建築物の一部を撤去することになり、ファミリータイプの住戸数が減少するため、条例違反となる可能性があるが、区の見解は。

中野三丁目のまちづくりにおける区の役割を問う

中野三丁目のまちづくりにおいてUR都市機構が施行者になると、これまで協議を重ねてきた中野区との関わりはどうなるのか、地域住民は不安を抱くことになる。UR施行の土地区画整理事業の場合、区の役割はどのようになるのか。

区長 引き続き、地区計画の策定で都市計画行政を進

めるとともに、国や都に対して補助申請をする主体は区であるため、事業の進行に適切に関与していく。

中野(旧第九中)学校跡地の活用に地域の声を反映せよ

第九中学校跡地について、いまだに活用方針が定まらないうちに多くの地域住民が不安を抱いている。地域の強い要望である地域の避難所機能を確保しつつ、地域住民の声を反映し、より一層地域の価値が高まるような計画の策定を望むが、区の見解は。

区長 地域の価値を高め、区全体にとって最適な活用方法を検討していく。

常任委員会視察報告② 建設委員会



平成26年10月28日(火)から29日(水)に、蒲郡市の「空き家対策」についてと名古屋市の「公園経営」について視察を行いました。写真は蒲郡市での様子です。

障害者の防災対策の強化を積極的に進めよ

自由民主党議員団 吉原 宏



①避難所の段差解消や、介助の際のプライバシー保護等、避難所における障害者への配慮について、機会あるごとに対策を求めてきた。現状はどのような対策が図られているのか。②避難所生活が困難な人を受け入れる二次避難所を準備しているのか。③災害時避難行動要支援者への訪問調査にあたり、専門事業者等に協力を求めるべきでは。④これらの取り組みを進める際、町会・自治会等へ十分な周知を行うべきでは。⑤安全・安心な地域づくりや、地域で支えあう風土の確立に向けて、共通理解や支えあいが進むよう取り組む区の姿勢が問われている。区長の決意を伺う。

区長 ①障害者への配慮として、段差解消のスロープの配備や、プライバシーが守られるスペースの割り当て等がある。また、流動食、おむつなどの備蓄などを行っている。

②避難所生活が困難になった高齢者や乳幼児親子などの支援のため高齢者施設や児童施設を指定している。また、障害者対応として、東京都総合保健福祉センター、都立中野特別支援学校など5カ所を指定している。③訪問にあたり、特に配慮が必要な場合は、関係団体や事業者と協力を求めつつ、丁寧に対応していく。④要支援者への支援の進め方について、防災会、町会・自治会、各地区の民生児童委員協議会で、説明・意見交換を進めているほか、福祉団体などに対しても説明や協力依頼を行っている。今後、区報などでも幅広く周知していく。

⑤「安心して住み続けられるまち」、「災害に強いまちづくり」はハード面の整備も欠かせないが、地域の方々の尽力抜きでは成り立たない。町会自治会をはじめとする地域の方々の理解を得ながら、しっかりと進めていきたい。

☆新しいURL☆
http://kugikai-nakano.jp/

中野区議会ホームページをリニューアルしました

平成26年4月1日から、中野区議会ホームページをリニューアルしました。それに伴い、URLも以下のとおり変更されました。区議会が区民のみならず、一層身近なものとなるよう、会議録検索機能の充実など、より使いやすくなりやすいホームページを目指しています。また、議会のしくみなどをやさしく説明した「キッズページ」もごさいます。ぜひご利用下さい。

☆新しいURL☆
http://kugikai-nakano.jp/